

「よりよいクラス活動を目指して」

ねらいとする道徳的価値に関する問題場面を自分事として捉え、
よりよい自らの生き方に思いめぐらせる生徒の育成

二本松市立二本松第三中学校 大沼 仁

1 主題によせる授業者の思い

本主題で扱う「集団生活の充実」について、本学級の生徒は、入学当初はごちなかったものの、活動を重ねていく中で、級友と協力して取り組むことができています。

しかし、学級全体で活動する中で集団のことを考えない行動が見られたり、自分の考えを優先させてしまったりすることがあった。また話し合いの場面では、相手の話を理解しようとせず自分の意見を無理に通そうとして雰囲気が悪くなることもあった。

授業構想に当たり、立場や考え方が違う二人組の登場人物の会話部分を焦点化し、グループで意見交換させる中で自分の考えを広げさせたい。その際、相手の意見をしっかり聞くこと、自分の意見を分かりやすく伝えることに留意していく。活動する中で、自分の経験を振り返り、よりよい集団を送ることにについて思い巡らせる態度を育成したい。

② 登場人物のやりとりを自分事として捉えさせ、意見の違う登場人物それぞれに共感できる理由、共感できない理由をワークシートにまとめさせる。その際、「少しは共感できる（共感できない）」部分についても意見をまとめるよう支援する。

〈真美・由紀に共感した生徒の考え〉

- 話し合いで決めたことは守るべきだ
- 車いすのためにがんばるのは正しい

〈圭司・悟に共感した生徒の考え〉

- 大切な大会が近い、しかたない
- できることはやっていると思う

③ 初めは、自分と立場や考え方が同じ生徒同士で集まり、意見交換をさせ、それぞれの考えを交流させる。続いて、自分とは違う立場や考え方をもち生徒同士で集まり、交流させる。自分の意見と友達の意見の類似点や相違点を比べながら、多面的・多角的に考えられるようにする。

2 授業の実際

視点 I

教材の問題場面を焦点化し、自分事として考えさせる活動の設定

① 考え方が異なり、対立する登場人物の構図を示し、どちらの立場に共感できるか心情円を使って考えさせる。

～アルミ缶の回収活動～

〈C組▶賛成多数で活動決定〉
みんなのできるだけ多く集めよう！



真美・由紀

みんなで決めたのだからやらないのはひどい

対

圭司・悟

大切な大会が近いから後からやらせてほしい

立

どちらに共感できる？



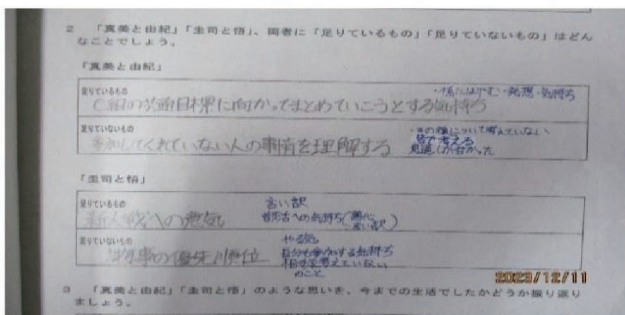
〈生徒の感想から〉

- ・ 共感できる立場は同じでも理由が違って、話し合うのが面白かった。
- ・ 自分と考え方が違う人の理由を聞くことができてよかった。

視点Ⅱ

自分のよさや至らなさに思い巡らせる 発問や活動の工夫

- ① 二つの違う立場をとる登場人物に、それぞれ足りているところ、足りていないところについて考えさせ、問い返しをしながら生徒の考えを揺さぶる。



- ② 自分の生活を振り返り、登場人物と似かよった経験があるかどうか、その時どんなことを考えたか振り返らせる。



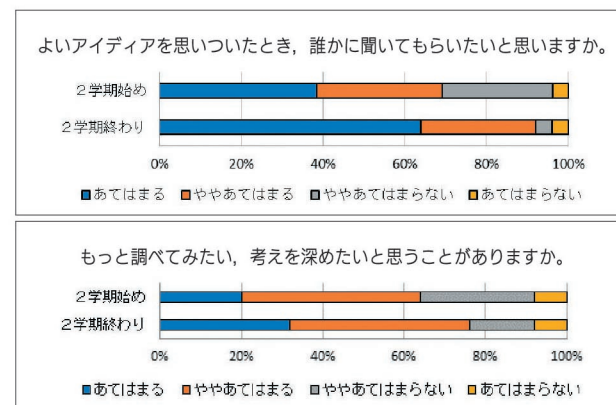
〈生徒の感想から〉

- ・ グループ活動時、やらない人がいて嫌な思いをしたが、どうしてやらなかったのか理由を聞いてしっかり話し合うべきだった。
- ・ 文化祭のクラス発表の話し合いでは、勝手に話す人もいて全体でよい発表にしようとしていなかった。みんなが納得できるようなものにしたい。

〈文化祭終了後の生徒の感想から〉

- ・ 文化祭は、周りの仲間と協力して活動した。クラス発表も、みんな目標をもってがんばり、いい活動になったと思う。楽しかった。

3 子どもの変容



〈考察〉

- ・ 多くの生徒が自分の意見を誰かに聞いてほしいと思い、意欲的に意見を伝え合うことができた。
- ・ 授業で学習したことについて、もっと調べたい、考えを深めたいと思う生徒が増えた。
- ・ 2回の調査とも「あてはまらない」と答えている生徒がおり、個別の支援が必要である。

4 研究のまとめ（○成果●課題）

【視点Ⅰ】

- 登場人物に共感できるかできないか心情円を使って考えさせたが、視覚化することによって立場や心の迷い、葛藤を明確にすることができた。
- 登場人物の立場や考え方に思い巡らせて話し合いを進め、「自分だったら」の視点で考えることができていた。
- 登場人物の関係をもっと単純化し、そこから話し合う内容を焦点化していく必要があった。
- 生徒の意見（つぶやき）をしっかりと見取り、問い返しをしていく中で考えを深めさせ、ねらいに迫らせたかった。

【視点Ⅱ】

- 自分の生活を振り返り、見つめる活動を通して、本授業の前よりも日常生活においてよりよい集団生活を送ろうと考える生徒が増えた。
- 自分の生活を振り返り、足りているもの、足りていないものについて授業の中で挙げさせながら全体で共有し、投げかけるべきだった。

実際の指導案はこちらへ▶

